

2014（平成26）年度

## 日本英文学会九州支部 編集委員会

---

日 時：2014（平成26）年10月25日（土） 午前10時～10時40分  
場 所：福岡女子大学地域連携センター2階「第2セミナールーム」

---

議事：

1. 『九州英文学研究』第30号（支部統合号 Vol. VI）の刊行について

2014年1月20日に発行された第30号には、イギリス文学部門2篇、アメリカ文学部門2篇が掲載された（内、英語論文2篇）ことが確認された。

2. 『九州英文学研究』第31号（支部統合号 Vol. VII）について

以下の点について確認された。

- ・今回は、計9篇の論文が掲載されることになった。「奨励賞」受賞論文と「懲憑論文」4篇が含まれる。今後とも、支部大会での「招待発表者」には、『九州英文学研究』に掲載されるように懲憑することとする。

なお、次のことが確認された。招待発表者の投稿論文は、規定上、優秀論文賞、奨励賞の対象からは外す。ただし、投稿するときに、一般論文と明記されていれば、一般論文と同じ基準で審査し、賞の対象とする。

- ・『九州英文学研究』の目次には、一般論文と招待発表者の論文を分けて掲載する。

3. 支部大会統合プロシーディングズについて

以下の点が確認された。

- ・支部大会統合プロシーディングズが平成26年9月16日に刊行された。九州支部のそれは50頁に及び、他のどの支部よりも活気を呈している。
- ・書式と締切の厳守について、今後の方針については、事務局交代後の新しい体制で検討する。
- ・支部大会資料統合版、英文学研究統合版、プロシーディング統合版、いずれも九州支部は他の支部に比べて分厚いが、これは九州支部の研究活動の活力の豊かさを示しているため、経費についての削減は、本部の方針も踏まえ、目下のところ勘案する必要はないことが確認された。

4. 九州支部「優秀論文賞」、「奨励賞」の審査について

種々議論の結果、「優秀論文賞」は、該当者なし。国崎倫氏の論文、「『ハムレット』におけるモグラ表象」を奨励賞論文に選んだ。

5. 「優秀論文賞」、「奨励賞」の表彰状の書式等について

- ・表彰状の形状や書式について、賞状の大きさ、紙質、手書き、賞状入れ等は、業者に委託する時の事務局の裁量に任せることで合意した。なお、賞の英語表記については次期事務局への申し送りとして継続審議となった。

## 6. 編集委員長と副編集委員長の交代と任期について

- ・第1回編集委員会での審議の結果、次期編集委員長には、イギリス文学領域の鶴飼信光副編集委員長が選ばれた。任期は、従来の規定では、2014年11月1日～2016年10月31日となるが、次の通り改正することが承認された。
- ・任期の改正について、編集委員長、副編集委員長および編集委員の任期は、支部長と同じく、当該年の4月1日から2年とすることが承認された。現編集委員から適用される。なお、新年度の支部大会で実施される予定のシンポジウム等は、現編集委員の任期中に準備を進める。副委員長の交代についてはアメリカ文学、英語学で相談して選考するよう支部長から依頼があった。

## 7. 「招待発表者」について

以下の通り報告があった。

- ・今年度の招待発表者は、英文学→虹林 慶氏（九州工業大学教授）、米文学→竹内勝徳氏（鹿児島大学教授）、英語学→大津隆広氏（九州大学准教授）。
- ・来年度からもこの制度を持続するとして、原則として各分野一人ずつとし、人選は、支部長と編集委員長及び副編集委員長で相談して決める。招待発表者の発表は、編集委員が聞きに行き、内容を確認した上で、『九州英文学研究』への投稿を慫慂するかどうかを編集委員会に諮ることが確認された。

## 8. その他

『九州英文学研究』への投稿論文の枚数制限に関して、内容・分野によっては制限を緩和するかどうか問題提起され、次期事務局で対応を検討し提案されることになった。

====出席者 15 名（敬称略、五十音順）====

鶴飼 信光（英文学・編集副委員長）  
太田 一昭（英文学）  
木原 謙一（英文学）  
小林 潤司（英文学）  
宮原 一成（英文学）

小谷 耕二（米文学・編集副委員長）  
竹内 勝徳（米文学）  
高橋 勤（米文学）  
早瀬 博範（米文学）

大橋 浩（英語学・編集委員長）  
登田 龍彦（英語学）  
西岡 宣明（英語学）  
向井 毅（英語学）  
山田 英二（英語学）

村里 好俊（英文学・支部長）

2014（平成 26）年度

## 日本英文学会九州支部 評議員会・理事会

---

日 時：2014（平成 26）年 10 月 25 日（土） 午前 10 時 50 分～12 時 10 分

場 所：福岡女子大学地域連携センター2 階「第 2 セミナールーム」

---

議事：

1. 活動報告

平成 25 年 10 月 26 日、27 日に開催された鹿児島国際大学での第 66 回支部大会の実施報告があった。

また、現時点で支部主催の講演会等は実施されておらず、今後もまだ予定がないことが報告された。企画があれば事務局まで連絡するよう事務局長の難波美和子氏から依頼があった。講演会用に 10 万円の予算を計上している。

2. 会計報告

- ・事務局長の難波美和子氏より、別紙の通り、平成 25 年度（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）支部会計報告が行われ、監査の宮川美佐子氏（福岡女子大学准教授）から確認の報告があった。

- ・平成 26 年度会計の中間報告が行われた。

支部大会資料印刷費（プロシーディングス、支部大会資料分担金）の支出について報告があった。また、編集委員会旅費が前年度よりやや増加する点、『英文学研究支部統合号』中の『九州英文学研究』の分量が少し多くなる点、選挙関連の郵送料の点で、今年度は支出が若干増加する予定である。

- ・事務局長の難波美和子氏より、平成 27 年度予算案が別紙の通り提案され、承認された。

なお、収支のバランスについては、本部に確認したところ、特に留意することはないとのこと。また、支部会員以外および他支部からの準会員のシンポジウム・パネリストには、謝金として 3 万円を支払うことが再確認の上で、承認された（大会開催経費に計上）。シンポジウム・パネリストと特別講演者を懇親会にも招待することが確認された。

3. 統合号出版経費負担について

経費負担について、第 7 号の分担金は未定であるが、増える予定である旨、報告があった。正式には、平成 27 年 2 月頃本部より連絡がある予定。

4. 支部理事選挙について

現在郵送による投票が行われていることが報告された。締め切りは 11 月 15 日（消印有効）。支部規約を改め、今後とも郵送のみによる投票にすることが承認された。

5. 編集委員会報告

○『九州英文学』31 号の結果報告

- ・「優秀論文賞」は、該当者なし。国崎倫氏の論文、「『ハムレット』におけるモグラ象」を奨励賞論文に選んだ。

○統合プロシーディングについて

支部大会統合プロシーディングズが平成 26 年 9 月 16 日に刊行された。九州支部のそれは 50 頁に及び、他のどの支部よりも活気を呈している。このことに関する経費についての削減は、本部の方針も踏まえ、目下のところ勘案する必要はない。

○編集委員任期

編集委員長、副編集委員長および編集委員の任期は、支部長と同じく、当該年の 4 月 1 日から 2 年とすることが報告された。現編集委員から適用される。

○招待発表は今回、イギリス文学、アメリカ文学、英語学から 1 名ずつ 3 名を招聘した。招待発表者の投稿論文は、規定上、優秀論文賞、奨励賞の対象からは外す。ただし、投稿するときに、一般論文と明記されていれば、一般論文と同じ基準で審査し、賞の対象とする。

6. 支部事務局の交替・新支部長の選出について

平成 27 年 4 月 1 日より 2 年間、九州大学文学部が事務局、支部長は西岡宣明氏に内定した。

7. 支部選出本部理事・評議員の選出について

本部理事は、支部長の西岡宣明氏に内定、本部評議員は、任期が残っている鶴飼信光氏が継続して務める。

8. 来年度の全国大会、及び、支部大会の開催大学について

全国大会は立正大学、支部大会は佐賀大学で開催することが報告された。

9. 支部規約の一部改定について

以下の規約の改正が承認された。

- ・「日本英文学会九州支部規約：10. 経費」について、「事業に関する会計報告は毎年 1 回本部評議員会にてこれを行う」→「事業に関する会計報告は毎年 1 回本部理事会・評議員会にてこれを行う」
- ・「日本英文学会九州支部理事選挙規約：3. 選挙方法」について、「②投票は 10 月末の支部大会と、11 月 15 日までの郵送による」→「②投票は 11 月 15 日（消印有効）までの郵送による」  
この改正に伴い、「投票手続きについて」、大会期間中の投票方法、郵送による投票手続きに関する「4」の内容は全削除とする。
- ・「日本英文学会九州支部振興基金規約：1. 賞制度」について、「この基金から年間優秀投稿論文に「日本英文学会九州支部年間優秀論文賞」を授与する。」の後に、「また、若手の会員には、「奨励賞」を授与する。」を追加。
- ・「日本英文学会九州支部優秀論文賞・奨励賞規約：2. 奨励賞」について、「(4) 奨励賞は、論文刊行年度において 40 歳未満の者、・・・。」→「(4) 奨励賞は、論文刊行年度において 37 歳未満の者」

以上すべて 2014 年 11 月 1 日改訂とする。なお各賞は「日本英文学会九州支部振興基金」から支出されるため、予算案でもこの名称で表記する。

=====  
出席者 28 名 (敬称略、五十音順) =====

《評議員》

井石 哲也  
國崎 倫  
雲 和子  
小林 潤司 (代理)  
豊島 麗子  
虹林 慶  
山田 健太郎  
大和 高行  
山根 一文  
吉田 徹夫  
吉村 治郎

《理事》

鵜飼 信光  
大島由紀子  
太田 一昭  
大橋 浩  
小谷 耕二  
登田 龍彦  
西岡 宣明  
早瀬 博範  
向井 毅  
山内 正一  
山田 英二  
村里 好俊 (支部長)

《事務局》

難波 美和子 (事務局長)  
水尾 文子  
坂井 隆  
村尾 治彦  
  
監査 宮川美佐子